

## 「市役所のおでかけトーク」の開催結果について

### 1 参加人数

月 日	対象地区（区）	会 場	参加人数
6月27日(水)	細江（細江）	細江コミュニティセンター	101人
7月3日(火)	地頭方（地頭方・落居・豊岡・新庄・遠渡）	トーク地頭方	94人
6日(金)	川崎（静波・川崎）	総合健康福祉センター さざんか	175人
10日(火)	相良（相良・福岡・波津・須々木・大沢・大江）	史料館	117人
11日(水)	勝間田（勝間田）	勝間田会館	102人
13日(金)	牧之原（牧之原＜相良地域・榛原地域＞）	牧之原コミュニティセンター	41人
17日(火)	片浜（片浜）	片浜コミュニティ防災センター	49人
20日(金)	坂部（坂部）	坂部区民センター	98人
24日(火)	菅山（菅山）	菅山農業就業改善センター	107人
31日(火)	萩間（中里・白井・神寄・西萩間・東萩間）	萩間公民館	106人
合 計			990人

### 2 市長による説明内容

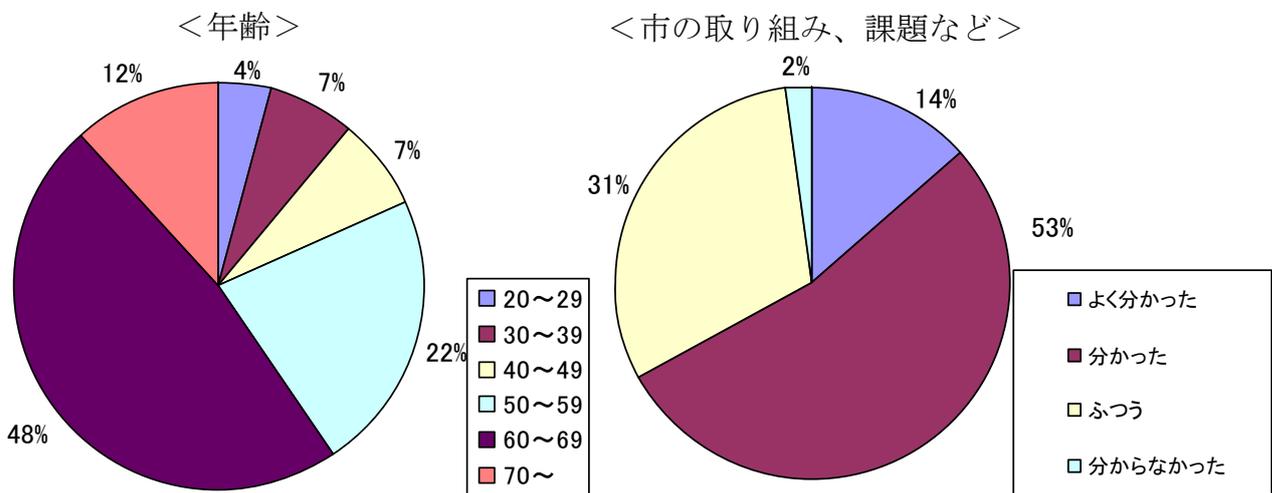
- ・平成24年度予算（歳入・歳出の概要、主要な事業、財政指標・職員数の推移等）
- ・地震津波対策（市・地区の取組み、災害時応援協定、津波防災まちづくり計画等）
- ・浜岡原子力発電所（永久停止表明、エネルギーまちづくり構想、今後の対応等）
- ・牧之原市の将来（社会基盤整備、静岡空港利活用、お茶・農業・商工業の振興等）

### 3 代表的な意見・質問（質問票：36枚）

- ・地震津波対策（計画・ハザードマップの作成、水門の建設、避難路・避難施設の整備、避難所の指定、高台移転に伴う土地利用規制の緩和、耐震化補助制度等）
- ・原子力発電（原発災害対策、ヨウ素剤の配備、太陽光発電の導入促進、今後の方針等）
- ・通学路の安全確保、自治会の統合、空港利活用、道路の整備・補修、河川の整備・管理（浚渫・草木除去）、防犯灯・街路灯の設置、行政改革（財政課題等） 外

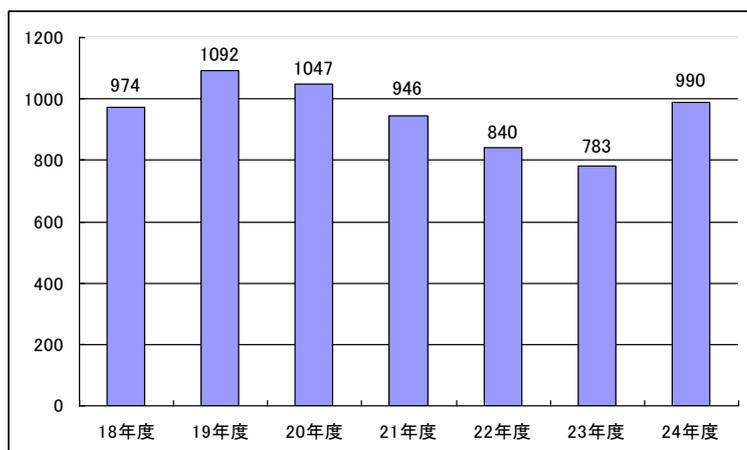
4 アンケート結果（回答者総数：545人）

- (1) 性別（回答者 542人） 男性 372人（69%）、女性 170人（31%）
- (2) 年齢（回答者 543人）  
20代 22人（4%）、30代 39人（7%）、40代 39人（7%）、50代 120人（22%）、  
60代 260人（48%）、70代以上 63人（12%）
- (3) 参加回数（回答者 536人）  
毎年 97人（18%）、初回 183人（34%）、2回目 127人（24%）、  
3回目 55人（10%）、4回目 40人（8%）、5回目・6回目 34人（6%）
- (4) 市の取り組み、課題など（回答者 518人）  
よく分かった 71人（14%）、分かった 276人（53%）、ふつう 161人（31%）、  
分からなかった 10人（2%）
- (5) 地区が希望した市政内容についての説明（回答者 500人）  
とても良かった 30人（6%）、良かった 165人（33%）、ふつう 269人（54%）、  
良くなかった 36人（7%）
- (6) 質問票による意見交換（回答者 441人）  
とても良かった 23人（5%）、良かった 147人（33%）、ふつう 250人（57%）、  
良くなかった 21人（5%）



5 参加人数の推移

年度	人数
18年度	974人
19年度	1,092人
20年度	1,047人
21年度	946人
22年度	840人
23年度	783人
24年度	990人
合計	6,672人



6 課題

- ・参加人数は、前年度に比べて207人、26%程度の増加となった。
- ・参加者の年齢は60代以上が60%を占めた。一方、30代以下は11%にとどまった。
- ・市の取り組みや課題などについては、「よく分かった」、「分かった」が67%に上り、前年度の55%よりも向上した。